蛭川家住宅（旧遠矢家住宅）主屋

所 在 地：曽於市大隅町恒吉字馬場566

構造規模：木造平屋建，瓦葺，面積180㎡

竣　　工：江戸末期（昭和40年頃改修）

大隅半島の付け根に位置する恒吉城下の郷士宅で，当地における江戸末期の武家住宅の間取りを有する。

表に玄関，次の間，座敷の三室を並べ，裏に納戸，小座，ナカエを配する。

登録有形文化財46-0116　平27.8.4登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの

蛭川家住宅（旧遠矢家住宅）蔵

所 在 地：曽於市大隅町恒吉字馬場566

構造規模：木造２階建，瓦葺，面積23㎡

竣　　工：慶應３年（1867年）

主屋の東方に建ち，正面には一間の下屋が付く。屋根は切妻造の瓦葺とし，軒を深く出す。

恒吉城下の郷士宅において，年代の明らかな遺構として希少で，歴史的な景観に寄与する。

登録有形文化財46-0117　平27.8.4登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの

蛭川家住宅（旧遠矢家住宅）門

所 在 地：曽於市大隅町恒吉字馬場566

構造規模：木造，瓦葺，間口1.9m

竣　　工：江戸末期

敷地正面の南辺を画す石垣の間に建つ。

門扉に八双金物を飾るなど，武家住宅の屋敷の表構えに相応しい風格を見せる。

登録有形文化財46-0118　平27.8.4登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの